

第 4 回 大腸癌プロジェクト研究「大腸癌腹膜播種の Grading」議事録

場所 ホテル日航東京 アポロン A

日時 2012 年 7 月 5 日 13 時～14 時

配付資料 大腸癌研究会プロジェクト研究「大腸癌腹膜播種の Grading」第 4 回資料

参加者 古畑（札幌医），衣笠（久留米），亀岡，廣澤（女子医），八岡（埼玉がん），大植，能浦（大阪成人病），飯合（新潟），長谷，上野，岡本（防衛），小森（愛知がん），石原（帝京），渡邊，須並，風間，日吉，室野（東大），小山（弘前），森田（青森県中），鏡（東邦大森），固武，小澤（栃がん），小林（医科歯科）
順不同敬称略

議題 1 第 3 回会議議事録案が承認された。

議題 2 腹膜播種の prospective study（観察研究）について

- ・現在、大腸癌研究会倫理委員会にて審査中。（事務局注：7 月 6 日の倫理委員会で承認された）
- ・研究の流れを確認した。
- ・新規参加施設：東京大学腫瘍外科。これで参加施設は総計 18 施設となった。

議題 3 腹水洗浄細胞診の prospective study（観察研究）について

- ・対象：cStage I は除く。
- ・介入：介入に関わる規定はなく，観察のみの研究とする。
- ・洗浄細胞診の方法：開腹時と閉腹時の 2 回、生食 50ml を用いてダグラス窩を洗浄する。
- ・細胞診の中央判定：検討課題とする
- ・登録方式：中央登録方式はとらない。

議題 4 腹膜播種の retrospective study（症例集積研究）の集計解析結果について

- ・事務局（小林宏寿）から解析結果が報告された。
- ・前回の委員会で発表された 4 施設のうち，栃木県立がんセンター，東京医科歯科大学は論文作成中。大阪府立成人病センター，東京女子医科大学も論文を作成してゆくことが確認された。
- ・今後、本データベースを用いて独自の解析結果を学会や論文等に発表してゆく際には、発表内容の重複や論旨の齟齬を避けるために事務局が調整作業を行うこととし、具体的には、抄録の段階で事務局宛に提出することが確認された。

上記が全会一致で承認された

(文責：小林宏寿)